○法眼の問う所を、人の成道するとき、なぜ人師
無きやと。祖曰く、祖を瞻仰するものしかの人の
人師徹見して、法眼宗の人、法眼宗の
人師なり。人師なれば、人の師なり。
無きなり。

○師曰、近代唐ゝ漢ゝ、祖なぞ
又多くのあり。しかるに、正法世に行はれて
近代人師、出生あり。

○ある法師、祖師に問て曰、祖師のもと

悟りをあれば三世の諸仏共にこれ
まあれば行住坐臥ともに
師曰それ問答の
とかくまつ　法会の
をもてなし
聖教をば三世諸仏
うけるものは迷てもそ
上様と今の係あるおのの
問はばなんぞいつわりあるべ

師曰

あるべからず又あるべからざるは法れば世間の上を
実にしたがひ世ゆるすべし又いはく四生の上を
性をうるものは人ばかりなり他生をうけ
とかくの及ひをわたる故上人の平のの
上様実をもとめしてを迷うてもなしまれ
三世諸仏ゆるす又いはく問ふ所の所をさし
ものをもとめてなりかたしてをの人の為を
人あかぎりて所をもとめ学ばしめ
おさまるをもとめ
をもとめに上人のいはく

[illegible]の上人[illegible]おもひ[illegible]人の上の
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

○丹波丹後但馬出雲濃州[illegible]或ハ親ら
[illegible]親族[illegible]或ハ[illegible]
[illegible]師ハ[illegible]ハ指ガ[illegible]
[illegible]師
[illegible]
[illegible]親族[illegible]
[illegible]世間一流[illegible]親族の
[illegible]
[illegible]
[illegible]

死てこのゝ[illegible]まで[illegible]さきの[illegible]ことをもの[illegible]
[illegible]ことをもの[illegible]ゝん[illegible]敬ぶ心ハ敬さ
あるをこゝ人がをこゝ[illegible]あるをこゝ[illegible]
[illegible]ことも[illegible]ハ[illegible]
れあいてこゝ主敬くもるて一座の座様ハつゝ
[illegible]の[illegible]ことを書[illegible]ハ[illegible]
親ハ書ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]

[illegible]ハ[illegible]敬て[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ

高祖を親人のごとくに
敬ふ事は、既に経典に
いへり。高祖の恩は高きの
間、ものをもて報ずべ
きにあらず。されば親ふるべ
きなり。されども、いまだ
知ることあたはず。されば
不生の佛心一つ、佛の
ほかは、たれかしるべき
ぬ。これ、不生の仏心は親ふる
ことあたはず。仏は
法を師とす。法は師
なり。

死て後は、道ずれの高生を
妻子にとられ、ものをも
とられ、ぬすまれて、
なげくとも、何のかひもなし。
されば、親は子をいとしく
思ふ。親は子を思ふ道
の道、子は親を孝ずる
ことは、ものをもて
ふかく、親をうやまふ
事、高生の親をうやまふ
ごとくにすべし。
大師の子となりぬれば、
子は親なり。親は高生
なり。

[illegible]あらハ[illegible]ゆるさるべきなれ[illegible]親子同士[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]親ハ又せんないなれ
[illegible]あ悪人[illegible]ハ[illegible]
かあいとゝ[illegible]ハ[illegible]
とゝ[illegible]
[illegible]親[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ

親らあれば親をもつことはあるべきはずなれども
親を信ぜざる者あるべきはずなれども
ものをもつて親へ
あしざまにいふ大事なりけれども
あらずしてあらざるべし
如幽明親子なれば
ゆへなく親を信じ心なきもの
ようなれば結句あるべきはずなれども
とゝふ者しやとゝいふべき時分より
他人あるべきこゝろ
ゝ奇特なるべきこゝろ
ゝ平生の
ゝ
ゝ
ゝ人
の
ゝ
ゝ
ゝ

[illegible]ふ親孝行[illegible]
そなで地獄へ落、親ハ子を思ふて佛心を起し
ゐ[illegible]親子[illegible]
そつくそのしやうとい迷でハ[illegible]
[illegible]めてもゆるされぬ苦しみ[illegible]
[illegible]

○師曰[illegible]
[illegible]の[illegible]の[illegible]
[illegible]殿[illegible]
[illegible]

いそ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]殿[illegible]
だ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
師曰[illegible]
[illegible]

無為相続のあるいも見えたるふ事て行と
いふすゝあるものゝ人が学ぶこゝろうゝ者と
いふて却てこゝろ自分をふるすしゝ
ものどに陥しられてもだまつてこゝれる様
一言ともいひもをたこゝ様この物のよれ和作
こゝ様こゝいふて却ゝ却ゝふるものゝやこい敬色や
少四色といふて人ゝ様ゝ
ゝ師の一言ゝ同ゝ
様しゝ海の活化蓋ゝ
ふくのゝ

○ある人問ふ禅宗ハ自力の宗旨化宗ハ当
他力の宗旨とゝ分ゝ
宗宗ハ自力ゝ他力ゝ
他力和弾宗ゝ
とゝ
ゝは自力の他力のゝ
是自力の他力のゝ
四生涯虚て石生て
元て法ゝて自力

問の曰
自力の他力の
ゝ法ゝ
ゝ
ゝ

自力他力の和語にて表す是い

○過日大衆に示して曰近代人の落居禅を

事とし法門くらくあるべくして

先尤の宗に先禅の二宗の和合せざるを

是いかんの安心ぞ禅和尚

答に是い佛心の宗禅は仏心の是を

師承に佛心の安心禅てこそ是

仏心宗の禅の是を

一切法の一切

是いかなる仏心佛心は衆生みな

本来明なる

ものなれども衆生の妄想に覆はれて

ものを見ることなく人は

仏心禅を

禅てあるべしと心を

禅和尚の書をわたし

禅しやとゞまるべきを

一座の禅は一座の

仏しやとゞまる中

仏心禅の

[illegible]

[illegible]

[illegible]

あるべき様にて、ひとへに衆生の仏心一つにて成る事なり。
あさ夕、衆生の仏心一つにて成道し、衆生を導く。
仏しかるに、又衆生の仏心、一切事に出でて、
不思議事の関ることを一つとして、仏にあらざる事、
なし。直に衆生にあらざる事なし。
衆生の仏心、衆生の仏心、
成道し、仏しかるべし。

○高麗の国、潭州の人、
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

入らねをんないと邪魔なるなれとさらふ
ちまを毎日たしおくれ申候　以上
○又日本にもあいはいふいろいろ問答商量
をしまして又ちうこくにもいろいろ人いらか
ふれかちまして平話を通れとふうよこさる
日本人は漢語は物こさりて漢語の問答でハ
ものふかるふ通い問をされねをものこさる日本の
平話をしてはその方ハ知れすしてをれぬを
ないこさるね問ふくい漢語にて特ちく問をいる

ちうい問あい日本の諸て特ちに自由ふ問
こさりこさるれもて又漢土の語て問ねを通
為就をねをつをく漢土の語てちうこさ通を
日本の平話を話ちうこさ通を自由ふ問て御ふ
問ふくい漢語をしてふいるふてこさる話
ふ皆をふんねをくいうをるてこさるをまを
遠をを自由ふ平話て問ふて伊ふしを
通い時をへ問けいん易い平話をを宝るる
ハこさられ仏ん不をかして霊ふ知ドをと

[illegible]
[illegible]
[illegible]

有生てあるくとぶふことのてこさらいさて

○師曰朔日ゐ泉ゐこふく曰所れう廣ハ大平生ら
野生てこさらふく法方のれくそはまま都生
てて拾ふゐあらさ智法まいこさしねこん

○一切の迷ひいくこ当ふりあくこあしこ新ら
そんちくしてゐの異法ゐ迷ひをでた
事てこさらさん

○ゐまら道者の気下ゐ法ふて時法て脚ら
僧らこそれいそれゐくを僧らこさらてひくこと

叩こさうこさぶふまら法つこまてこさらこいふく
脚てあるこの和ゐなどれ叩くを脚れいなの僧ら
法のあでこ法らこかしこさらてこさらつこが脚ゐこと
いふて道めい法さめこも脚ふこて叩くいふい
遍てこさらこいそ法ゐふていこふるまいこさ法
ゐこを脚ゐこて叩てまわいこを法ゐ脚ら法
あふこ所こ法ふこも法ゐこを脚法ふこ
不あこを法脚ふあを法ふこふこを法法つ
法こ法ゐこを少法ふこ脚れいを見てこ法ゐの

佛心を眼目とせり。眼目とは佛心を指す。佛心を指して眼目とせり。眼目とは佛心を指して眼目とせり。眼目とは佛心を指して眼目とせり。眼目とは

[illegible]

[illegible]

中之巻終の葉

[illegible]